

2018年5月23日

日 本 銀 行  
金融機構局金融高度化センター

## アグリファイナンスに関する地域ワークショップ(第7回)の様様

日本銀行金融高度化センターでは、2018年5月15日、アグリファイナンスに関する地域ワークショップの第7回目の会合を新潟県新潟市で以下のとおり開催した。

日 時：2018年5月15日（火）、15時00分～17時00分

会 場：日本銀行 新潟支店 広報ルーム

<プログラム>

▼開会挨拶 武田 直己（日本銀行 新潟支店長）

▼プレゼンテーション

「アグリファイナンスについて ―地域金融機関の取組みの現状と課題―」  
石橋 由雄（日本銀行 金融機構局 金融高度化センター 企画役）

▼質疑応答、意見交換

<参加者> 第四銀行 北越銀行 大光銀行 新潟信用金庫 長岡信用金庫  
三条信用金庫 新発田信用金庫 柏崎信用金庫 上越信用金庫  
新井信用金庫 村上信用金庫 加茂信用金庫

## ▽ プレゼンテーションの概要

「アグリファイナンスについて ―地域金融機関の取組みの現状と課題―」

石橋 由雄（日本銀行 金融機構局 金融高度化センター 企画役  
―― プレゼンテーションの内容は、別掲資料を参照。

新潟県は日本有数の米どころで、農作物の県内生産高に占める米のシェアも断然にトップである。知名度の高い米加工食品や県内産の日本酒の種類の多さをみても、地域全体で米を中心とした成熟した6次化産業となっている。一方で、新潟県の「にいがたフード・ブランド戦略」や、新潟市の「フードバレー構想」にみられるように、米以外の特産物作りや農業を含めた食産業の育成など、さらなる成長に向けた取組みも行われている。

こうしたなか、地元行庫の多くはアグリ分野を成長産業として位置付けているが、現在の農林漁業向けの融資でのプレゼンスは大きいとは言えない。これまでもABLの活用や6次産業化支援などが推進されているが、事業体単体としてだけでなく、地域を巻き込んだ、より広い概念での6次産業化の推進等を通じて、地域金融機関として農業を核とした地域活性化に貢献していくことが期待される。

アグリ分野は、今のところ高収益性産業とまでは言えないかもしれないが、地域金融機関にとって身近に必ず存在し、かつ「逃げない産業」であり、この分野に積極的に関わることは、金融機関の営業基盤を強化するとともに、地域活性化への貢献という意味でも重要である。また、わが国の農産物への海外需要の高まり等、農業分野は、今後、さらなる成長が見込まれる期待分野である。

以 上